



しもの幸助県政レポート

2018 8月号 VOL.25

発行：三重県議会議員しもの幸助事務所

KOSUKE'S EYE

日頃は「しもの幸助県政レポート」をご覧頂き、誠にありがとうございます。このたびの平成30年7月豪雨により犠牲となった方々におくやみを申し上げます。今回の県政レポートでは、下記の項目を掲載しております。

- ・平成30年6月定例会(6月)に行った一般質問の概要
 - ・鈴鹿市から三重県への平成31年度予算編成に向けた政策要望
 - ・7月26日～8月20日の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)など
- 現在、三重県を中心に愛知、岐阜、静岡、和歌山の5県でインターハイが開催されています。また、第100回全国高等学校野球選手権記念大会では三重県代表として県立白山高校(津市)が初出場しました。インターハイ、高校野球を始め、2020年東京五輪・パラリンピック、2021年三重とこわか国体・三重とこわか大会(全国障害者スポーツ大会)などスポーツを通じて活気ある三重県を創っていきます。猛暑の折、こまめな水分・塩分補給、適温なエアコン利用をして頂き、熱中症などにはくれぐれもお気を付けください。



平成30年7月豪雨災害義援金活動

三重県議会議員(鈴鹿市選出)

しものこうすけ

下野幸助[41歳]

【現在の主な役職】

- 1 教育・警察常任委員会 副委員長(インターハイ所管)
- 2 予算決算常任委員会委員
- 3 議会運営委員会 委員
- 4 議会改革推進会議 幹事
- 5 中部国際空港拡充三重県議会議員連盟 副会長

平成30年三重県議会定例会(6月)下野幸助議員、一般質問に登壇!

平成30年三重県議会定例会(6月)において、下野幸助議員が質問に立ち、下記の4項目について質問しました。

- 質問項目
- (1) 三重県の人口減少対策について
 - ①自然減対策(妊娠・出産、子育て支援)
 - ②社会減対策(若者の雇用対策など部局間連携について)
 - (2) 三重県の福祉医療費助成制度の方向性について
 - (3) 三重とこわか健康マイレージ事業について
 - (4) 首都圏営業拠点 三重テラス(第二ステージ)について

(図2) 三重県年間人口減少数(直近3年実績 単位:人)

人口減少要因	2014年実績	2015年実績	2016年実績
①自然減少 出生数-死亡数	▲5,798人	▲6,189人	▲6,628人
②社会減少 転入数-転出数	▲2,839人	▲4,218人	▲3,597人
三重県 年間人口減少数(①自然減少+②社会減少)	▲8,637人	▲10,407人	▲10,225人

県民人口/182.8万人(2014年1月) → 179.2万人(2018年6月)

今後、三重県では毎年1万年強の人口減少へ

知事答弁

下野議員御指摘のとおり、まさに人口減少対策は三重県が発展していけるか否かの大変根幹部分の重要なことであると認識しています。自然減対策は、この平成26年度から力を入れてやってきて、合計特殊出生率や理想とする子どもの数、トレンドとしては上がっていますが、合計特殊出生率、ちょっと下がったりしているところもありますので、あらゆる施策を効果的な、効果的な施策を探索し、その改善に努めていきたいと思っております。(図3) 社会減対策では、転入減が多く社会減、転出超過になっています。その転入減を分析すると30歳～44歳および0歳～14歳の転入が減っています。つまり子育て世代、働き盛り世代の転入が減っており、こういう人たちが魅力的に感じる働く場、学ぶ場、暮らす場の創出に向けてしっかり取り組んでいきたいと思っております。

(図3) 平成28年度 賃金構造基本統計調査(総務省統計局) 保育士(保母・保父)

平均賃金	給与・賞与等(千円)	全国順位	平均年齢・勤続年数	年齢(歳)	勤続年数(年)
東海3県別全国平均			愛知県	36.7	10.4
	4,310	1	岐阜県	36.7	7.1
	2,959	33	三重県	33.4	6.1
三重県	2,803	42	全国平均	36.0	7.7
全国平均	3,267	—			

1 三重県の人口減少対策について

三重県の人口は2007年187万人をピークに、現在179万となっています。(図1) 人口減少は死亡数と出生数の差の「自然減少」と進学、就職、転職等の引越による転入と転出の差の「社会減少」の2つに分けられます。直近の3年間(2014年から2016年)の実績で言いますと、自然減少が約6000人、社会減少が約4000人で、合計すると毎年1万強の人口減少が三重県で生じています。(図2) 自然減少対策、社会減少対策の意気込みについて知事にお尋ね致します。

(図1) 三重県の総人口・高齢化率の推移と将来推計



(図4) 子ども医療費(三重県福祉医療費助成制度)県内29市町の実施状況(0～6歳児)

年齢	所得制限(児童手当)	現物給付(窓口無料)実施(予定) 15市町(9市6町)	償還払い実施 14市町(5市9町)
0歳児 6歳児 (未就学児)	有	2017年4月実施 鈴鹿市(3歳児まで) 2019年4月予定～6歳児 2018年4月実施 四日市市、名張市 2018年9月実施(予定) 津市、伊勢市、志摩市、度会町	桑名市、いなべ市、松阪市、尾鷲市、熊野市、木曾岬町、東員町、菟野町、明和町、大台町、紀北町、御浜町
	6市1町		
	無	2018年4月実施 伊賀市、川越町 2018年9月実施(予定) 亀山市、鳥羽市、朝日市、玉城町、大紀町、南伊勢町	多気町、紀宝町

県内29市町で子ども医療費助成制度(窓口無料と償還)が異なる → 県が全体的な底上げ支援を推進

2 三重県の福祉医療費助成制度の方向性について

下野質問 三重県内29市町ある中で、子ども医療費の窓口無料実施または計画しているのは15の市町です。一方で14市町が従来通りの償還払いの無料となっています。県内各市町の子ども医療費の政策が所得制限の有無や窓口無料の有無などばらつきが出ています。(図4) 県としては子どもの医療を全体的にカバーしていくべきと思いますが県のご所見を確認します。

医療保健 部長答弁

県といたしましては、今回、補助対象としたセーフティネット対策としての窓口無料化については、全市町で行われることが望ましいと考えておりますが、福祉医療費助成制度は、あくまでも市町が実施主体でございますので、実施の時期などについては各市町の判断を尊重したいと考えております。今回の補助制度の拡充により、子どもたちが家庭の経済状況にかかわらず、必要な医療を安心して受けることができるよう、県としてしっかり準備を進めまして、市町を支援していきたいと思っております。



平成31年度県予算編成に向けた鈴鹿市の政策要望(7月19日)

(子ども医療、道路整備など)

末松則子鈴鹿市長、水谷進鈴鹿市議会議長が三重県庁および三重県議会を訪問され、鈴鹿市から鈴木英敬 三重県知事、前田剛志 県議会議長へ政策要望書が提出されました。地元の県議会議員として同席し、子ども医療、道路整備(中勢・磯山バイパス)など重点政策についての補足説明を行いました。(右図参照)



中勢及び磯山バイパス進捗状況



三重県議会議員 新政みえ所属
こうすけ
しもの幸助事務所
〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

しもの幸助公式ホームページ
<http://www.k-shimono.com>
最新の活動状況がご覧いただけます
皆様からのご意見をお待ちしています。
お気軽にご連絡ください。

三重県議会議員 しもの幸助プロフィール(41歳)

- 1976年11月 鈴鹿市に生まれる 現在41歳(妻、長男、長女 4人家族)
- 1983年 3月 私立第二さくら幼稚園 卒園
- 1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
- 1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
- 1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
- 1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
- 1999年 4月 国立サウスバンク大学 英国留学(聴講生留学)
- 2001年10月 内閣官房(国家公務員/内閣事務官)
- 2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了(MBA取得/経営学)
- 2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
- 2010年11月 同社退社
- 2011年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区) 初当選
- 2015年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区) 2期目当選
- 2016年11月 中部国際空港拡充三重県議会議員連盟副会長 就任
- 2018年 5月 三重県議会 教育・警察常任委員会 副委員長 就任



7月の活動報告

7月4日・5日

教育・警察常任委員会 県内調査

(1) 四日市北警察署新庁舎（今秋竣工予定）
本年9月の供用開始をめざして工事施工中の四日市北警察署新庁舎の機能等について調査しました。現庁舎は築46年が経ち、海拔1.2M（新庁舎は25M）となっており、老朽化や津波対策等のため、新庁舎（四日市市羽津4452）の建設が進んでいます。

(2) 三重県立四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科
平成30年4月にものづくり創造専攻科（機械コース、電気コース合計20名）が開設され、産業界と密接に連携した実践的な教育を通じた、高度で卓越した専門教育の状況について調査しました。

(3) 三重県立特別支援学校 東紀州くろしお学園
平成29年4月に熊野市金山町に新校舎が統合整備された東紀州くろしお学園本校において、特別支援教育に関する現状・課題等について調査しました。

(4) 三重県警察 機動隊新庁舎
平成28年11月に完成した機動隊新庁舎において、警備実施の中核となる機動隊の施設や訓練の状況等について調査しました。

この他、三重県立尾鷲高校（競泳場など部活動施設）、御浜町立尾呂志学園小・中学校（小中連携教育、コミュニティ・スクール運営等）を視察しました。



四日市北警察署新庁舎



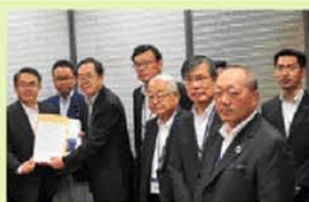
三重県立四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科



三重県立特別支援学校 東紀州くろしお学園



三重県警機動隊新庁舎（訓練視察）



7月3日 中部国際空港二本目滑走路建設要望（衆議院会館）



7月21日 鈴鹿市老人クラブ連合会 GAC Suzuka あいさつ



7月22日 三重県消防操法大会 白子分団（鈴鹿市代表）激励



7月26日 鈴鹿中央線延伸バイパス道路 整備促進期成同盟会あいさつ

平成30年度 全国高等学校総合体育大会

8月1日（水）総合開会式（三重県営サンアリーナ）
8月20日（月）まで開催中

8月1日、三重県議会教育警察常任委員会 副委員長としてインターハイ総合開会式に出席しました。皇太子殿下ご臨席の下「2018 彩る感動 東海総体」の開幕を宣言する式典と三重県内の高校生による、演技・音楽のパフォーマンスが行われました。大会スローガン『翔べ 誰よりも高く 東海の空へ』を掲げ、8月20日まで30競技の熱戦が繰り広げられます。地元の県立白子高校吹奏楽部の皆様には式典音楽隊として行進曲ソング『ミライエ』の演奏や音楽パフォーマンスなどで大活躍して頂きました。翌2日に皇太子殿下は三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿にてソフトテニスをご観戦されました。

【夏季大会】
陸上競技、体操、水泳
競技など全30競技
【参加者見込】
約36,000人
(選手、監督等)



総合開会式にて全参加者を代表して 県立白子高校吹奏楽部が演奏する中、三重県選手団による選手宣誓の様子

三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 開催：4競技
水泳（水球）、ソフトテニス、男子サッカー（一部）、ハンドボール（一部）

【三重県財政の状況】

県の財政を一般家庭に置き換えてみると…

■収入

(単位：万円)

	平成18年度	平成28年度	備考
給料	479	487	県税収入、地方交付税、使用料、諸収入など
親からの仕送り	120	109	国庫補助金など
貯金取崩し	17	20	基金の取り崩し
ローン	72	84	地方債（臨時財政対策債は除く）
計（※1）	688	700	

■支出

(単位：万円)

	平成18年度	平成28年度	備考
生活費（※2）	568	564	4万円の減少
ローン返済	97	121	公債費
計	665	685	
ローン残高	960	1,385	10年間で約1.4倍
貯金残高	35	10	財政調整のための基金
貯金残高	29	18	その他特定目的基金

(※1) 10年間の収入推移 688万円⇒700万円（12万円増加） (※2) 10年間の生活費推移 568万円⇒564万円（▲4万円）

生活費の主な内訳

- 福祉の向上に 69万円⇒114万円（+45万円）
- 犯罪・交通事故防止に 42万円⇒37万円（▲5万円）
- 道路・住宅・公園などの整備に 107万円⇒84万円（▲23万円）
- 農林水産業の発展に 47万円⇒33万円（▲14万円）
- 教育・文化に 182万円⇒177万円（▲5万円）



平成30年版 成果レポート ～成果の検証と改善に向けた取組～

「成果レポート」とは…

県では、長期戦略である「みえ県民カビジョン」や中期戦略「みえ県民カビジョン・行動計画」などにに基づき、前年度の県政の取組について評価を行い、その結果を翌年度における取組の改善へ生かすこととしています。「成果レポート」は、毎年度の評価によって明らかになった成果や課題、翌年度の改善方向などを取りまとめ、県民の皆さんにわかりやすくお伝えするための年次報告書です。



※一部の施策を掲載させていただきます

施策	目標項目	29年度目標値	29年度実績値	目標達成状況 (%)
災害から地域を守る人づくり	率先して防災活動に参加する県民の割合	54.0%	48.2%	89%
地域医療提供体制の確保	県内看護系大学卒業生の県内就業者数 県内市町の国民健康保険料の収納率	195人（28年度） 92.20%（28年度）	162人（28年度） 92.24%（28年度）	83% 100%
がん対策の推進	がん検診受診率 (乳がん、子宮頸がん、大腸がん)	乳がん 43.4% 子宮頸がん50.0% 大腸がん 36.0% (28年度)	乳がん 43.4% 子宮頸がん50.0% 大腸がん 28.5% (28年度)	乳がん 100% 子宮頸がん100% 大腸がん 79%
こころと身体の健康対策の推進	健康寿命（健康寿命の延び）	男 78.3歳 女 80.9歳（28年度）	男 78.3歳 女 81.0歳（28年度）	男 100% 女 100%
交通事故ゼロ、飲酒運転0（ゼロ）をめざす安全なまちづくり	交通事故死者数 老朽化した信号制御機の更新数（累計） 運転者のシートベルト着用率	70人以下 88基 98.3%	86人 103基 97.0%	81% 100% 99%
獣害対策の推進	野生鳥獣による農林水産業被害金額	508百万円（28年度）	461百万円（28年度）	100%
笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり	小・中・高等学校における1,000人あたりの暴力行為発生件数 小・中・高等学校における1,000人あたりの不登校児童生徒数	小学校 2.2件 中学校 7.2件 高等学校 2.4件 小学校 4.3人 中学校 27.4人 高等学校 14.6人	(暫定値) 小学校 3.4件 中学校 8.2件 高等学校 2.1件 (暫定値) 小学校 6.0人 中学校 32.5人 高等学校 14.1人	小学校 65% 中学校 88% 高等学校 100% 小学校 72% 中学校 84% 高等学校 100%
競技スポーツの推進	全国大会の入賞数 県営スポーツ施設年間利用者数	127 725,800人	117 842,648人	92% 100%
中小企業・小規模企業の振興	県内中小企業・小規模企業のうち、収益等が向上または維持した企業の割合	66.0%	64.1%	97%
ものづくり・成長産業の振興	ものづくり中小企業における、従業員1人あたりの付加価値額	10,983千円（27年度）	11,382千円（27年度）	100%
三重の戦略的な営業活動	三重が魅力ある地域であると感じる人の割合 首都圏営業拠点「三重テラス」の来館者数	59.0% 600,000人	62.7% 668,847人	100% 100%
次代を担う若者の就労支援	県内新規学卒者が県内に就職した割合	74.7%	72.2%	97%